

# マイケル J ローズ ニュースレター 2013年 春号



こんにちは♪

春です☆庭では、さくらんぼの桜が満開です。

昨年末から、変化の早さに驚いています。私自身の生活がとてもシンプルになってきたように思います。それでいて豊かです..出会いが広がっています。

今朝は、夢の中に、美しい龍が出てきてくれました。名前はトーラ、これは、私が感じて名づけたものですが、豊かなつながりを育みたいと思っています。

愛をさらに深め、意識をさらに広げる日々を創造したいと思います♪

うれしいお知らせです。「愛の目を通して」第3巻が、出版に向けて動き始めました。

マイケルの第4巻も、もうすぐ仕上がるのでは..と首を長~くして待っています。

素敵な、素敵な毎日の創造を♪

たくさん愛をこめて やすみ

## \*セミナーのお知らせ

今年のマイケル J.ローズセミナーの日程が決まりました♪

10月5・6日 週末セミナー (京都私学会館)

10月10日~14日 インテンシブ(コープイン京都)の予定です。

## \*マイケルのフェイスブック

マイケルのフェイスブックを翻訳して掲載しています。フェイスブックのマイケルローズ japan のページで見ることができます。フェイスブックに入られていない方も、下記のサイトで見ることができます♪是非、お勧めします☆

<http://www.facebook.com/michaelroadsjapan>

## マイケルのお話 by マイケル



今日は1月19日、ずっと以前に亡くなった母の誕生日です。私たちの地域で最後に雨が降ったのは2012年7月19日、丁度、6ヶ月経ちました。ええ、数回、少し雨が降りましたが、全部併せても、多くの人が当たり前と思う85ミリリットルでした。私にとって、25ミリリットル以下は、にわか雨に過ぎず、それ以上が、雨です。

ここクィーンズランドで、ある程度定期的だった天候が、予測できなくなって以来、早魃の数年間が続いています。このようなことは、初めてです。6ヶ月も、芝を刈っていないのです！雨が降るときは、きっと本当に大雨になるだろうと思われれます。オーストラリアは、ひどく両極端の大地となっています！

信じられないほどの美と、厳しい自然をあわせもっています。町を破壊する大規模な洪水の年、それから2年後には、これまでにない極端に高温の森林火災を経験しました。小さな町は一扫されました。家畜や野生動物の犠牲者数は、衝撃的です。

不思議なことですが、どこか他で暮らしたいとは思いません。すべてのことを考えてみた後も、私の気持は、オーストラリア南部の素晴らしい大地に大きく傾きます。

しかし、勿論、挑戦はあります。雌鶏たちは、庭で、周りの森林で、自由に安心して暮らしていました。しかし、近隣の土地に小さな水たまり、池が3ヶ所あって、オオヒキガエルが、繁殖しはじめました。オオヒキガエルの雌は、一度に4千個の卵を産みます。それは、毒性があります。

卵は、有毒なおたまじゃくしになり、成体になると、この毒性ある生き物は、近くの森林に移動します。もっとも近い庭が、私たちの庭です！雌鶏は、庭のなかでも湿り気のある4箇所、地面をつついたり、ほじくったりします。そこは、バイオ下水処理タンクがあって、放水口からリサイクルされた雑排水を撒き散らします。そこには、勿論、オオヒキガエルも集まります。雌鶏は、孵ったばかりのオオヒキガエルをつついて食べ、死んでしまいます。

母なる大地が、間違っただけではありません。大地は、自然が支配できるようヒキガエルを、南アメリカに生息させました。愚かなオーストラリアの科学者が、1935年に、毒性あるヒキガエルを3千匹、オーストラリアに持ち込んだのです。サトウキビの害虫であるカブトムシを抑制できると考え、持ち込んだヒキガエルを放ちました。勿論、事態は、悪化しました。このカブトムシは、昼行性で、ヒキガエルは、夜行性です。だから、出会うことはほとんどないのです！現在、オオヒキガエルの数は、30億を、ゆうに超えているでしょう。彼等は、ここに定着しました。知性がなしたわざです！

地元の話は、十分です。キャロリンが、不満をこぼすだろうから..(こぼしました！)

あなたは、まだ、この地球にいますか？これを読んでいるのだからいます！巨大な地震はなく..いつも、地震は起きていますが、激しいものではなく、だから、2012年は、何も起きなかった？いいえ。大きな出来事でした、しかし、最近、書いたことですが、物質的よりもメタフィジカル・非物質的なことが、はるかに多く起きているようでした。でも、忘れないでください。非物質的が、物質的に先行します..つまり、物質的な表現が、ベストのタイミングで、非物質的な表現の後に続いて起きてくるでしょう。

新年の誓いをしましたか？私は、一つ誓いました。昨年よりも、熱心に愛を選ぶことです。愛にもっと焦点をあて、私の思考が愛から離れるかどうか気づく、また、そのときに気づくことです。

私は思考ではありませんが、私が愛から離れている間は、感情を伴う思考が私の人生の方向を作り出します。覚えておいてください。私たちは、思考ではありませんが、思考と思考に伴う感情が、私たちの人生を作り出します。つまり、本当の私たちではないものが、人生を作り出しているのです。つまり、私たちの人生はさまよう思考と感情、怒りの思考と感情、批判的な思考と感情、恐れが多い思考と感情の結果なのです。どれも、本当の自分ではありません。しかし、この無意味な混乱が、私たちの健康状態も含め、人生の中味を作り出します。

愛を選ぶとは、意識的であることです。愛を選ぶ、それは、気づいていることです。愛を選ぶとは、自分に責任を取ることです。愛を選ぶ、それは、自分の選択を意識することです。どれも簡単ではありません。シンプルですが、誰もシンプルが簡単とは言いません。

シンプルには、複雑さがありません。人生において、人々ほど複雑なものはありません。シンプルな方法を試してください。シンプルな状況を複雑なものにしないでください。シンプルな状況には、シンプルな解決法があります。

これは、健全な考え方です。健全な考え方も最近、少なくなりましたが..

だから、選ぶのなら、この新しい始まりの年を、本当に特別なものとして創造することです。あなた自身への批判を全

て終わらせる年に、あなた自身に対して、愛と敬いをこめて、優しさと親切心で向き合う年にしましょう。ええ、あなた自身に！これは、自己中心とは、まったく違います。キャロリンなら、「それは、あなた自身である、セルフである、だけのことよ。」と言うでしょう。

予測していました。私が、ここまで書いた数日後のことです。オズワルドと名づけられたサイクロンが、雨をもたらしてほしいという私の願いを聞いてくれました。3 日間で、500 ミリリットルの雨が降りました。私たちにとっては、完璧な量の雨でした。しかし、オズワルドのために、ここから、北へ数時間ドライブしたところにあるブンダバーグでは、観測史上、最悪の洪水になりました。家屋は洪水で一掃されるか、強い風で潰されました。また別の地域、南へ数時間ドライブしたところのスプリングバーグでは、4 日間で 1200 ミリリットルの雨が降りました。雨ではなく、集中豪雨あるいは、大洪水です。オーストラリアでは、よくあることですが、解き放たれた自然が、抑えられない力であることを教えています。

ここに住むには、この大地を愛さなければなりません。

愛と光の中で マイケル

## ご挨拶 by キャロリン



4 ヶ月の海外ツアーの準備で忙しくしています。以前は、週末、家を留守にするだけでも最大級のストレスがかかっていたことを思い出します。留守を預かってくれるハウシッターのために細かく指示を書いたメモを台所の壁紙に貼り付けたものです。いつ、どのように、何をすべきかを指示したメモです。

とても傲慢ですが、私だけが、子供たちをうまく学校へ送り出し、猫や犬に餌をやり、庭に水をやれる、私のやり方が一番と思っていました。公園での犬の散歩コースさえも記していました。なんとも、です。おかげさまで、もう、同じことをする必要はありません。

その頃、自分に話しかけていたこと、それは、マイケルがよく言う「幻想との対話」でした。ユダヤ教の律法、タルムードにもありますが、「私たちは、ものごとをあるがままに見えない・自分流にしか見えない」と。的を、得ていませんか？

「自身に真実を話す」、そこには、天国と地獄ほどの違いがあります。正直な洞察は、本質的にストレスを小さくする素晴らしい能力があります。(分かるのに 20 年もかかりました)しかし、幻想の中でさ迷っているとき、どうしてその真実が分かるでしょう？その頃は、「私が留守にすると大変」それが、真実だと思っていたのです。

その後、その考えに質問を投げかけ始めました。真実が、ストレスを作り出すはずがありませんから。キリストが言いました。「真実があなたを自由にするでしょう」と。「真実が不安や心配を作り出すでしょう」とは、言っていない。私は自分に真実を話していなかったのです。いいえ。あらゆることは、私がいなくても問題ないとすぐに気づきました。それが、真実でした。とてもシンプルです。そして、私は自由になりました。どこかへ出かけるときはいつも私を不安にさせた嘘から。

私たちは、内なるところで認めていることだけを、外へ向けて表現できるのです。嘘の信念を手放すと、その現実が消えました。私は心配なく旅をします！

愛をこめて キャロリン

# 質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

**質問:** 場所や建物は、エネルギーを保ちますか？たとえば、戦場の痛みといった？犠牲者や英雄のための戦争記念碑については？そこを訪れる人々に、エネルギー的に影響を与えますか？誇りや、悲しみなどの共感は別にして。もし、それが否定的なものなら、どのように変えることができますか？

**洞察:** ええ、場所は、エネルギーを保ちます。戦場は、何世紀もその痛みを抱えています。また、エネルギーにおいて、直線の時間はありません。エネルギーは、永遠の瞬間に存在します。直線の時間を測ることはできますが、直線の時間は、実際、エネルギーを含みません。

人々が暴力的な死や、衝撃的な死を迎えると、その地域は、その瞬間の人々のエネルギーで満たされます。何十人、何百人、何千人になると、エネルギーは増幅されます。そうして、とても重たい否定的なエネルギーの場になります。

暗い部屋に入ると、すぐにその影響を受ける人がいます。同様に、戦場を訪れた時、人々は、エネルギーの影響を受けます。すぐにではないかもしれませんが。何も感じない人がいるかもしれないし、翌日、気分が悪くなる人がいるかもしれません。オープンさや、感受性の違いによって、影響を受けたり受けなかつたりします。感情的な不安を感じる人もいれば、体に何かを感じる人がいるかもしれません。精神的な不安を感じるかもしれません。

イタリアのトリノで博物館へ行ったことがあります。建物へ入ったとたん、すぐに外へ出たくなりました。留まりましたが、たくさんのミイラが置いてある部屋は、エネルギーがひどくて、すぐ外へ出ました。ロンドン塔を訪れたときも、同じでした。エネルギーは、とても違うけれど、そこで起きた終わりのない苦しみを、気分が重くなるほどの無気力として感じました。急いで、塔を出ました。

戦場のエネルギーは、戦場だった期間はたいてい短く、歳月や風や天候が次第にエネルギーを消散させます。ロンドン塔は、何世紀にも及んで苦しみが続いた場で、そのエネルギーが石造物に深く染み込んでいます。まだ、そこに漂っているし、これからも漂い続けると思います。

どのようにエネルギーを変えられることができるかの質問ですが、まず、そのエネルギーの性質次第です。しかし、家の部屋とか、庭の一角とかであるなら、適切なハーブで、そこをいぶすと良い結果となるでしょう。もう一つの方法は、クラシック音楽などを繰り返しかけ続けることです。音楽が、その建物やその一体に浸み込むでしょう。また、それを変えようとする人、人々のエネルギーにもよります。否定的な感情の人は、より問題を抱える人が多く、感情的に安定し調和の取れている人より改善の効果が少ないでしょう。

**質問:** クリスマスについて質問があります。あなたとキリストとの関係は、そして、キリストの意味は何ですか？デーヴァのような自然の存在について述べていますが、光の体で旅するとき、あなたは、天使に会いますか？フラワーニューハウスのようなキリスト教神秘主義が教えているアセンションしたマスターや、より高位の存在のようなスピリチュアルな、序列についてどう思いますか？彼女によると、キリストは、毎年、クリスマスに、ブッダ、クリシュナや、他のマスターたちを伴って、スピリチュアルなメッセージをもたらしているそうです。このことに関するあなたの洞察を聞かせてください。

**洞察:** キリストが、この地球に関して私に、秘密を明かすようなことはなく、何も特別な関係にはありません。私にとって地球は、不滅のやんちゃな子供たちが学ぶ教室であり、

時には、銀河系の気が狂ったような存在のための収容所に見えたりします。

もし、「愛の目を通して」のシリーズ本を読んでいたら、私と、天使や、彼等との関係がわかるでしょう。宗教に対するキリスト教のアプローチは、かなり硬直し、序列があります。スピリチュアルに対する私のアプローチは、柔軟で、オープンです。

確かに、アセンションしたマスター、特にヒラリオンは、私の人生にとっても影響を与えましたが、他の点で、キリスト教は、私の道ではありません。クリスマスの重要性は、キリスト教徒にとって確かにありますが、他の宗教の殆どの人は、認識していないでしょう。西欧社会で、クリスマスは、鬱と自殺の割合が高くなる時期であることを考えると、キリスト教徒にとっても新しいスピリチュアルなメッセージを感じていないようです。

悲しいことですが、クリスマスは、商業的になり過ぎて、スピリチュアルなことよりも、アルコールや、休日、娯楽といったものを差し出しているようです。確かに、多くの人が、教会へ通い、キリストの誕生を祝い、賞賛しますが、殆どは、故郷へ帰り、数日の休日を楽しむといったものです。キリストからの静なるメッセージに同調する数日ではないようです。どれも、批判ではありません。私の観察です。私たちは、本来の私たちは・・・メタフィジカルな多次元の愛と光の存在です。私たちにとっての課題は、この真実を生きることです。

現代のクリスマスには、目移りすることがたくさんありますが、それでも、真実と共に新しいメッセージを感じる人たちがいると思います。

しかし、内なる平安を見出し、内なるところでキリストと同調するときは、クリスマスに限らず、いつでも、その真実が入手可能だと私は思います。

私がつながっているのは、自然のスピリットであるパンですが、私の友達、ブライアン・ロングハーストは、生きているキリストとつながっています。彼にこの質問をしたら良いのではと思います。

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。

英語での質問はキャロリン宛: [Carolyn@michaelroads.com](mailto:Carolyn@michaelroads.com)

日本語は、こちらへ: [info@michaelroadsjapan.com](mailto:info@michaelroadsjapan.com)

## 「愛の目を通して」第4より

分離と一体性について・・・抜粋

私たちは、黙ったまま歩いていました。私たちの前にも後ろにも、道はずっと続いていました。

「私の人生に戻ってきてくれてありがとう」

シーアインが私に微笑みました。『実は、きみの人生から完全に離れたことはない。きみの夢の経験以来、ずっときみと一緒にだった・・・私の全てではないけれど。私の一つの側面は、きみと一緒にだった』

「一つの側面とは、興味深い。いま、あなたは、全的にここにいますか？それともあなたのある側面だけですか？」  
『同じ質問をしよう。きみは、全的にここにいるだろうか？それとも、きみの一側面？』

うーん・・・彼の言う通りだ！「この私は、一つの側面です。別の側面は、私の書斎に座っています。私の過去を生きている側面もあります。また、私の未来を生きている側面も。私が生きて経験している人生が作り出す全ての可能性を生きている私もいます。このことに終わりはありますか？あるいは、すべての私の側面は、私であるメタフィジカルな存

在の波紋のようなものに過ぎませんか？」

『きみの質問は、すでに分離を抱えている。波紋の間にある空間をすべて取り去り、直線の時間が幻想であることを受け入れることだ。全ての側面の間にある分離を取り去るのだ。すると、きみは一つ、すべて集約された現実にいることになる。これが、真実だ。しかし、もし、きみのこの現実のフレームで、全て集約されると、人々は、すぐに気が変になるだろう。だから、きみたちは、意識において、全て一つであるという真実、その真実を受け入れられるほどに成長するまで、時間と空間と分離のゲームが必要なのだ』

…誰も孤立していません。しかし、私たちは、いくつもの人生を孤立させます。肉体と一生という生物学的、直線的な地点を作るためだけに。そうやって、学びます。

真実において、私たちは、一人一人が、一つの集合体、それぞれにこれまで経験してきたすべての生まれ変わりの人生の集合体です。

…全ての生命は、意識あるエネルギーの動きです。すべての叡智はエネルギーです。全てのエネルギーは、あなたのものであり、私のものであり、あなたであり、私であり、わたしたちです。私たちはエネルギーです。全てのエネルギーは、一つのエネルギーです。分離は、偽りの信念です。その信念は、痛み、恐れ、病気を作り出します。それは、あなたへの、私への、私たちへの冒涇です。私たちは、全ての生命と一つです。全ての生命は、エネルギーです。それ以外ではありません。

…私は、太陽系の太陽と一つです。銀河系の太陽と、宇宙の太陽と一つです。広大な宇宙のエネルギーの中で、取るに足りないほど小さな私ですが、平安です…そして、私は、この広大さと一つです。たじろぐこともすくむこともありません。このエネルギーは、私です。私は、このエネルギーです。

誰もがそうです…なぜなら、これは、私たちに与えられたものです。幻想の中で迷っていようと、です。私たちは、ここに、純粋なエネルギーの大いなる存在として生まれきました。皮膚をまとったエネルギーです。豊かな永遠のなかで、本来のふるさとへの道を見出すことが私たちの運命です。私たちが、本来のふるさとに達するとき、私たちは、肉体をまとった短い、無限の瞬間の全ての経験をもっていくことになります。

…私たちは、人間と呼ぶ一つの意識の流れにある宇宙です。メタフィジカルな DNA のトラスは、ボルテックスの入り口となって、太陽と、銀河系の太陽、そして、宇宙の太陽とコミュニケーションすることができるのです。他にもたくさんある宇宙の中に、たくさんある他の銀河系の中に、その中にあるたくさんの他の太陽系には、たくさんの太陽があります。しかし、それぞれに、主要な太陽があります。

しかしながら、私たちが包括的な生命を十分に受け取れる、分離は、幻想の投影に過ぎないと知っている意識の状態に達した時、その主要な太陽と、コミュニケーションする、つながることができます。

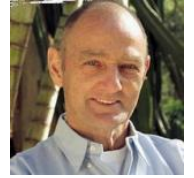
## 手放し

マイケルの経験を読んだ後、私は、私自身が抱えていた 28 年間の痛みを癒しました。ずっと怒っていたことに、気づいていませんでした。しかし、この友人のことを思い、衝撃的で突然の別れを思い出すたびに痛みを感じていました。彼女が、はじめたことですが、私は怒り、長年、その傷を抱えていました。

手放すために、もう一度、その痛みを感じました。そして、彼女が、私の部屋にいるかのように、彼女に話かけました。このレッスンを学ぶまで、私たち二人を手放すことができるまで、私の人生の一部であり、私と共にいてくれたことに感謝しました。できる限りの愛をもって彼女を手放しました。

全てが終わった時、大きく深い呼吸をしました。ありがとう、マイケル。あなたは、私の人生に関わった素晴らしい魂への平安と無条件の愛の瞬間へと私を導いてくれました。

## 意識のコラム by マイケル



今回の旅では、2012年のクリスマスのイベントについて話すつもりです。実際、クリスマスの時期は、たくさんの方がメタフィジカルに起きた時期であり、それが、終わるというより、まだ続いています。だから、ここでは、あまり述べないことにします。

何ヶ月か前に、私は、ローレンス・アンソニーによる「The Elephant Whisperer」を勧められました。とても感動的な内容です。どうしてこの本を取り上げるかというと、意識について書かれているからです。著者(残念ながら、亡くなりました)が、この本を執筆中、意識のつながりを認識していたかどうかはわかりません。この物語は、群れで一番支配的な雌象と著者との実話です。手短かに要約すると、生息地を強制的に移動させられた群れは、地元の村民にとって、とても攻撃的で危険な存在になりました。そのため、象たちを殺そうとしていました。南アフリカで暮らしていたローレンスは、ズールーランドの森林地帯に5千エーカーに及ぶトゥーラトゥーラ野生動物自然保護区を所有していました。彼は、象の群れを救ってほしいと頼まれたのです。彼にとって、これは厄介ごとを抱えることを意味しましたが、すぐに、同意しました。

野生動物ですから、寛大なローレンスの素晴らしい行為に対する理解は無論ありません。リーダーの雌象は、何とか彼を殺そうとしました。象にとって強制移動は、トラウマになるような出来事です。そんな困難な移動の後、群れは、公園の中でも、電流の流れるフェンスをめぐる比較的狭い一帯に保護されました。象にとって、必要なことでした。時間のある限り、ローレンスは、フェンスの外側に立ち、群れのリーダーに話しかけました。彼女は、彼に突撃しようとして、いつも、決まってフェンスの前で止まりました。ローレンスは、彼女の怒りはもったもなことを、また、彼女がとても美しいことを伝えようとしていました。彼は、彼女を愛していたのです。

殆ど変化が見られないまま、何ヶ月も、同じことが繰り返されました。しかし、次第に、リーダーの雌象は、彼に対して攻撃的でなくなります。ローレンスは、彼以外、誰も、彼女の、あるいは、群れの近くへ行くことを禁じていました。群れは、あまりにも危険です。とても、ゆっくり、彼の無限の忍耐力で、彼とリーダーの関係が、育まれていきます。是非、本を読んで見てください。お勧めします。

私から見ると、リーダーの象とローレンスの意識は、深くつながったのです。他の象が、何度か彼を殺そうとしましたが、リーダーの象は彼を救いました。忘れないでください。彼等は、動物園の象ではなく、野生の象です。数秒で人間を殺すことができます。以前、群れの二頭が射殺されたため、彼等にとって、人間は、痛み、恐怖、混乱を意味しました。しかし、群れが、落ち着きを取り戻し、フェンスがいなくなったとき、象たちは、広大な公園に解放されました。ローレンスは、車で公園へと出かけ、群れを見つけては、かなり離れた距離に車を止め、車の中から、リーダーに話しかけ続けました。

やがて、リーダーのメス象は、ローレンスのところへ歩みより、彼女の鼻で彼に触れるようになりました。相互の信頼と尊敬を基にしたつながりは、本当にすばらしいものです！

数年後のことです。ローレンスは、戦争中のイラクでバグダッド動物園が苦境にあえいでいることを聞きました。動物は、放置されたまま、飢えや、爆弾に、苦しみ、また、食用に殺されてもいました。ローレンスは、大きなハートをもつ大男でした。彼は、動物を助けるためにイラクへ飛び、戦火と略奪で破壊された動物園を少しずつ立て直しました。ローレンスは、賞賛と敬意に値する人でした。彼は、そこに6ヶ月以上滞在しました。その期間、誰も、トゥーラトゥーラ自然保護区で象の群れを見かけることはありませんでした。

彼が、南アフリカの家族やスタッフのところへ戻った時、リーダーとともに象の群れは、彼を待っていました。彼が到着する数時間前に、彼の家の門近くに現れたのです。何年も後に、彼が突然、心臓麻痺でなくなったとき、群れは、彼の家に来て、門の近くに立ったまま、水も食べ物も摂らないで2日間過ごし、彼への敬意を表しました。それから、公園の奥深くへと戻っていき、再び、見かけることは滅多にないそうです。

私が、ここで伝えたいのは、「意識のつながり」です。異なる種の架け橋となった「意識のつながり」は、素晴らしい感性の存在であるローレンスとリーダーが触れあい、人間から受けた残虐な行為を乗り越え、真の現実のレベルで意識でつながったことです。全ての生命は、一つである意識の多様な表現です。自然と人類は、確かに、一つの意識の多様性の中で、異なる表現をしていますが、決して人間が優れているということではありません。友達となった動物の思いがけない移行(死)を、私たちの多くは、感じる事ができないだろうと思います。ペットでもなく、所有している動物でもなく、つながりのある野生の動物の移行を、です。たとえ、直感(意識の認識)が、つながっても、脳は、論理的に考え、ありそうにない出来事として否定してしまうでしょう。

勿論、意識におけるそのように深いつながりは、一般的ではありません。確かに、つながりは起きますが、ローレンスとリーダーが分かち合ったほどの深い信頼は、滅多にありません。光の体でいるとき、そういったつながりを見たことがあるので、リーダーは、彼の不在中も彼を認識していたことが私には分かります。彼女は、意識における彼の思考と行動が、分かるため、彼が保護区へ戻る時、門の近くで出迎えました。ローレンスが、彼の移行(死)を経験した時も、彼女は、彼の意識が物質界から去るのを感じたのです。非物質的なレベルで、意識のつながりが確立されると、そのつながりは、継続します。

私としては、彼の移行を知って、残念でした。素晴らしい男性を物質界から失っただけでなく、実際に、会いたいと思っていたからです。あなたは、「意識でつながれるのでは？」と、言うかも知れませんが、私にとって、それは、ふさわしいことではありません。彼には、彼の旅があります。時間のない領域で、新しい環境に適応する時間が必要でしょう。リーダーの雌象が移行するときは、きっと、彼女の愛溢れる友人、ローレンスが出迎えることでしょう。ローレンスとボスは、意識して愛を選びました。そのことを、とてもうれしく思います。時間はかかっても、愛は勝利します。

マイケル・J・ローズに関するお問い合わせ先: マイケルローズジャパン 大亀安美

TEL /FAX 0897-34-8914

URL: <http://www.michaelroadsjapan.com> e-mail: [info@michaelroadsjapan.com](mailto:info@michaelroadsjapan.com)